

包括的核実験禁止条約（CTBT）にかかわるシンポジウム 「核実験監視技術とその科学的利用」

【開催趣旨】

CTBTは、1996年署名開放され、現在CTBT機関準備委員会において国際検証体制の整備が進められている。日本原子力研究開発機構では、核兵器廃絶、原子力の平和利用を推進する国の政策に基づき、条約遵守を検証するための国際・国内体制のうち放射性核種に係るシステム等の整備・開発を行っている。本シンポジウムでは、CTBT発効に向けた検証体制の準備状況をレビューし、国内関係者にこの活動に対する理解を深めていただくとともに、CTBTにかかわる技術的課題及び政策的課題について討論する。特に、技術的な面では、CTBTの国際監視観測所で得られるデータの科学的な利用の可能性について議論を行う。

【主催】日本原子力研究開発機構

【後援】日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター

【日時】平成21年7月9日（木）10：00～18：00（受付開始9：30）

【場所】浜離宮朝日小ホール（東京都中央区築地5-3-2）

【内容概要】（詳細 <http://www.jaea.go.jp/04/np/>）

10:00～10:10 開会挨拶 原子力機構 理事長 岡崎俊雄

基調講演

10:10～10:40 「CTBTについて」(仮題)

CTBTO 準備委員会 事務局長特別補佐官 香川美治氏

10:40～11:10 「CTBTへの日本の取組み」(仮題)

外務省 軍縮不拡散科学部長 佐野利男氏

11:10～11:40 「CTBTへの日本気象協会の取組、核実験監視に係る地震波・微気圧振動観測の現状

(財)日本気象協会 参与 新井伸夫氏

11:40～12:10 「CTBTへの原子力機構の取組み、核実験監視に係る放射性核種監視の現状

原子力機構 核不拡散科学技術センター長 千崎雅生

技術セッション

13:10～14:00 「核実験監視に係る放射性核種監視の現状」

原子力機構 核不拡散科学技術センター 技術主幹 小田哲三

14:00～14:30 「CTBT現地査察制度(OSI)整備の現状と課題」

(財)日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター 研究員 一政祐行氏

パネルディスカッション

14:45～16:15 パネル1：科学技術的側面(放射性核種を中心に)

モデレータ：東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 客員教授 篠原伸夫氏

パネリスト： 日本分析センター 分析業務部次長 磯貝啓介氏

原子力機構 核不拡散科学技術センター 技術主幹 小田哲三

日本経済新聞社 論説委員 清水正巳氏

日立GEニュークリア・エナジー(株) 深澤哲生氏

名古屋大学大学院工学研究科 エネルギー理工学専攻 教授 山澤弘実氏

16:20～17:50 パネル2：政策的側面

モデレータ：(財)日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター所長 阿部信泰氏

パネリスト： NHK 解説委員(軍事・安全保障担当) 秋元千明氏

京都大学：法学研究科 教授 浅田正彦氏

CTBTO 準備委員会 香川美治氏

外務省 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課長 森野泰成氏

広島市立大学 広島平和研究所 准教授 水本和実氏

17:50～18:00 閉会挨拶 原子力機構 理事 岡田淑平